

評価シートのとりまとめ

評価シートの取りまとめ

1. 採点

評価項目	配点 (合計)	委員A	委員B	委員C	委員D	合計
1.全体計画の評価	10 (40)					
2. 地域社会・地域経済への貢献	17 (68)					
3. 保安体制・維持管理計画の評価	15 (60)					
4. 顧客サービスの評価	18 (72)					
5. 経営計画の評価	10 (40)					
合計	70 (280)					

評価シートの取りまとめ

2. コメント

	評価項目	コメント
1. 全体計画 の評価	経営理念、ビジョン、 経営戦略	• 大きな問題はない。 • 概ね適切であると評価できる。
	事業リスクに対する 考え方	• 大きな問題はない。 • リスクに対する考え方は適切であると評価できる。 • 事業譲渡後10年を目途に、残存する要耐震化管の耐震化工事を実現するとあるが、現実的に実行可能な計画なのか。 • 会社の年齢ピラミッドにバランスの安定化を図ることは、計画的な地元採用及びUターン施策だけでは、困難ではないか。
	組織体制	• 大きな問題はない。 • 組織体制に特段問題はないと評価できる。 • 新設するショールームに期待
	人員構成・採用計画・ 人材育成	• 大きな問題はない。 • 人員構成に問題はなく、地元採用の計画や人材育成について評価できる。
	事業開始までの体制 及び計画	• 大きな問題はない。 • 適切であると評価できる。
	本市との連携方針	• 実績は十分。 • 松江市との連携について提案内容は具体性もあり評価できる。

評価シートの取りまとめ

2. コメント

	評価項目	コメント
2. 地域社会・地域経済への貢献	地元のガス関係事業者等の活用	• 大きな問題はない。 • 具体的な考え方が示されており評価できる。 • 当面は継続するとしても2029以降は流動的。ただし新事業者の方針は理解できる。
	地域雇用の維持・拡大についての考え方	• 大きな問題はない。 • 一定程度評価ができる。 • ガス事業以外の新事業の展開による雇用増に期待
	地域経済への貢献の考え方	• 大きな問題はない。 • 一定程度評価ができる。 • 地域事業者の技術力を含めた資質向上に寄与されんことを期待
	地域社会への貢献の考え方	• 実績は十分 • 取り組みの方向性について評価できる。 • ショールームの避難所運用など防災拠点化に期待する

評価シートの取りまとめ

2. コメント

	評価項目	コメント
3. 保安体制・維持管理計画の評価	安定供給確保（原料調達、ガス製造）の基本的な考え方	- 実績は十分 - 具体的な考え方が示されており評価できる。
	供給保安管理体制	- 大きな問題はない - 適切であると評価できる。
	需要家保安管理体制	- 良質な計画 - 適切であると評価できる。
	緊急保安体制	- 大きな問題はない - 具体的であり評価できる。
	災害時の保安体制	- 大きな問題はない - 体制は適切であると評価できる。 - 大規模災害対応の実績に期待
	経年管更新計画及び本支管耐震化計画	- 良質な計画 - 計画は適切であると評価できる。 - 残存している経年本支管(2025年3月末想定：6.850km)を事業譲受後10年を目途に入れ替えするとあるが、別途、要耐震化管の耐震化工事(2025年3月末想定：6.031km)も事業譲受後10年を目途に耐震化工事を実現する予定のため、残存経年本支管の入れ替え及び要耐震化管の耐震化工事について、スケジュール的に実行可能な計画なのか。 - 残存している供給管(2025年3月末想定：1,747本)を事業譲受後10年を目途に経年供給管を更新するとあるが、年間174本の更新することについて、2024年度末(予定)と比べて2.1倍であるが、スケジュール的に実行可能な計画なのか。
	工事実施体制	- 大きな問題はない - 適切であると評価できる。

評価シートの取りまとめ

2. コメント

	評価項目	コメント
4. 顧客サービスの評価	料金計画	・ 良質な計画 ・ 料金計画は適切であると評価できる。 ・ 5年間料金据え置きを評価
	営業計画の考え方	・ 大きな問題はない ・ 営業計画は適切であると評価できる。
	顧客サービスの考え方	・ 大きな問題はない ・ 一定程度評価ができる。 ・ ショールームを拠点とする活動に期待
	苦情対応	・ 大きな問題はない ・ 一定程度評価ができる。
5. 経営計画の評価	資金調達計画	・ 実績は十分 ・ 資金調達計画に特段の問題はないと評価できる。 ・ 譲り受け金額を評価する
	利益計画書	・ 良質な計画 ・ 一定の算定根拠に基づいており、将来的には安定する計画となっており、評価できる。
	予定貸借対照表	・ 実績は十分 ・ 一応の算定根拠に基づいており、一応の安定性、安全性が確認できる。
	資金計画書	・ 大きな問題はない ・ 資金計画書に特段の問題はないと評価できる。
	設備投資計画	・ 大きな問題はない ・ 設備投資計画に特段の問題はないと評価できる。 ・ 本支管の改良費の算定方法として、経年管の改善と要耐震管化の改善コストを100,000千円/kmで想定しているが、経年管改善と要耐震管化改善のkm当たりコストが同額で妥当なのか。